

ARの落書きを共有するSNS

M科：繁戸脩幸
I科：江原慎也
S科：エンフバトル

2017年9月26日
iCCD-TeamC

目指したものの サービスの概要



電通大に
落書きしたい

出発点



議論の足跡



サービスの
仕様

開発状況
今後の課題

目指したものの サービスの概要



カメラを通して

- 落書きする
- 落書きを見る



はじめて来たけど
めっちゃええ大学やんw

はじめて来たけど
めっちゃええ大学やんw

コンセプト

「AR」+「SNS」

楽しい落書きで情報共有

議論の足跡



なぜAR?
なぜSNS?
なぜ電通大限定?

なぜAR?



ARとは

拡張現実 (Augmented Reality)

人が知覚する現実環境をコンピュータにより
拡張する技術、およびコンピュータにより
拡張された現実環境そのもの



ARKit



ARCore

なぜSNS?



■表1. 日本におけるSNS利用者数

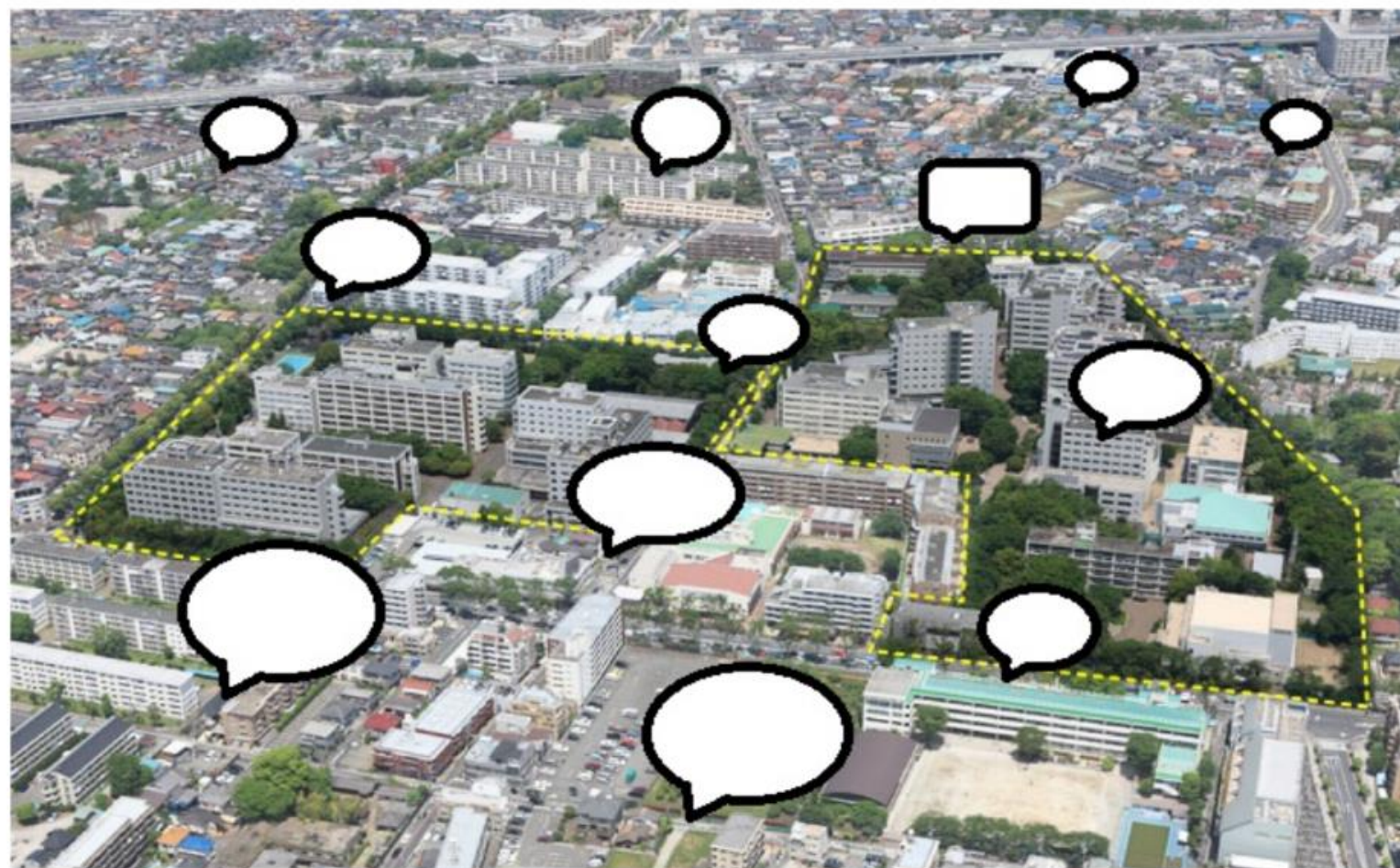
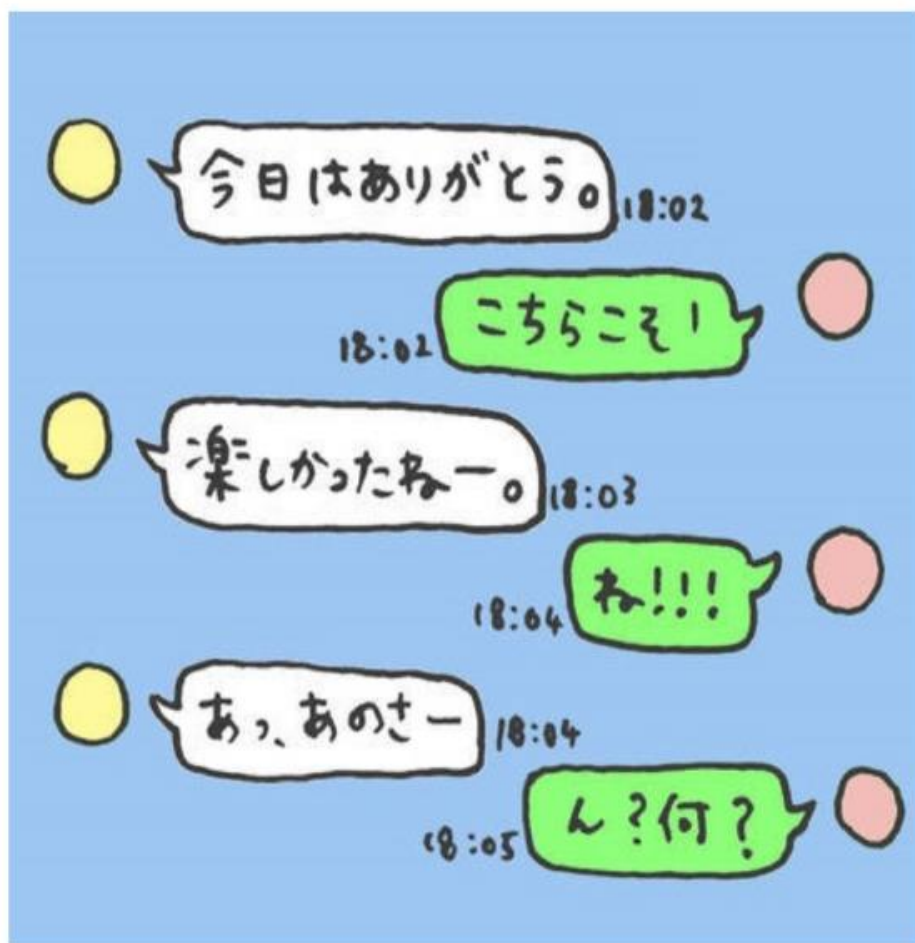


日本人の1人に2人がSNSを利用

なぜSNSか？

ARの普及にはSNSの拡散力が
必要だと思ったため

ロケーション型AR + SNS を
融合させたサービスが少ないため



時系列だけでなく、空間に沿って表示される

なぜ電通大限定？

➡ ARとSNSの問題点の解決策

ARの問題点

- まだまだ不十分な位置精度
 - ➡ BeaconやUEC WirelessのSSIDから推定
- カメラを使用するARの交通事故の危険性
 - ➡ 大学内なら少しは安全

まだまだ不十分な位置精度

ジャイロセンサ
加速度センサ



GPS



地磁気センサ

大学内であれば位置精度を
より高めることができる。



GPS

ジャイロセンサ
加速度センサ



地磁気センサ



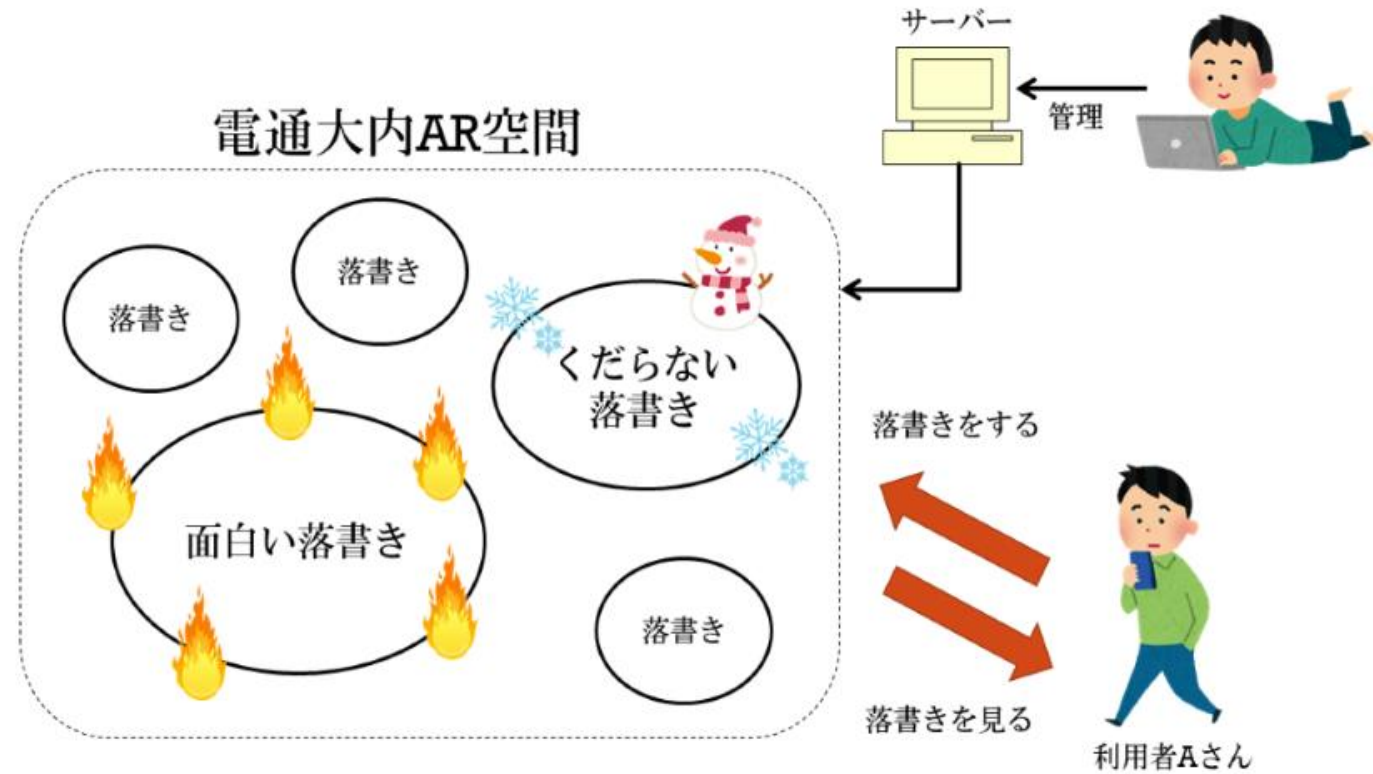
Beacon
UEC wireless

SNSの問題点

- 個人情報（位置情報など）の流出
 - 詐欺・スパム
 - ネットリテラシーの欠けたユーザー
- 学内限定の閉じたサービスなので
トラブルは少ない

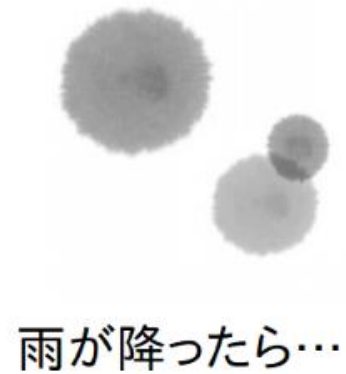
サービス
の
仕様

提供するサービスのイメージ



サービスはスマートフォン用の
アプリケーションとして提供

落書きへ誘導する楽しいアイデア



雨が降ったら…



開発状況
今後の課題

現在の開発状況

- ・ Androidアプリとして開発中
- ・ 任意の方角に落書きを表示可能

今後の課題

- ・ BeaconやGPSから位置推定
- ・ iPhoneにも対応
- ・ わかりやすいUIを目指す
- ・ サーバーの構築